

知財情報を活用した投資判断の可能性

杉 光 一 成
立 本 博 文
波多野 紅 美 CMA
山 内 明
力 久 未知可

目 次

- 1. はじめに
- 2. 知財制度と経営との関係
- 3. 主な知財情報（知財KPI）の特徴と種類
- 4. 知財KPIと財務データとの関係
- 5. 「中型株」における知財KPIと財務データとの関係の検証
- 6. おわりに

本稿では、知財制度および知財情報の基礎的な知見を提供しつつ、関連する先行研究を基に知財情報を活用した投資判断の可能性を検討し、併せて東証のいわゆる中型株について行った知財情報と各種財務データとの関連について報告する。

1. はじめに

企業経営における知的財産（以下、知財）の重

要性が高まっており、2021年のコーポレートガバナンス・コード（以下、CGC）改訂により、知財への投資の監督およびその開示が強化され

杉光 一成（すぎみつ かずなり）

金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 教授。博士（工学・医学）。内閣府「知財投資・活用戦略の有効な開示及びガバナンスに関する検討会」委員。

立本 博文（たつもと ひろふみ）

筑波大学ビジネスサイエンス系 教授。博士（経済学）。内閣府「知財投資・活用戦略の有効な開示及びガバナンスに関する検討会」委員。

波多野 紅美（はたの あけみ）

SBI証券金融調査部 チーフクオンツアナリスト。東京工業大学大学院総合理工学研究科修士課程修了。

山内 明（やまうち あきら）

知財ランドスケープ 代表取締役社長CEO。弁理士。シニア知的財産アナリスト（AIPE認定）。

力久 未知可（りきひさ みちか）

筑波大学大学院ビジネス科学研究科経営システム科学専攻修了（修士（経営学））。